

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史

45 回目

出口修さんは近世の八幡神領外の村々の一つ上奈良村の「蜻蛉尻川堤切れ事件」について話されました。どの辺りのことかと現在の地図を下に載せています。1714年5月16日大雨で松井、内里が堤切れで田畑が冠水。上奈良、内里村の3、40人が堤を切ろうとし、下奈良村では見回りを、篝火をたき夜も警戒。雨で増水したため上奈良側は堤を4.5mを切る。鋤、鍬等での争いが。下奈良村は八幡宮社務に直訴したり、京都町奉行所へ出訴したいしたが、直ぐには収まらなかった。結局上奈良、内里、下奈良の4名が手錠をかけられ、村預けに。10カ月も続いた。川幅が狭く、過去に何度も洪水が発生していた。このことが明治維新後木津川の付け替えに結びついたのではと。

- ① 日時 2023年4月26日(水)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07

5-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net 作られた

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。



蜻蛉尻川(旧木津川) 上奈良村の八幡下り

